

付 表

浦 和 市 主 要 年 表

付 表

浦 和 市 主 要 年 表

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
約2万 5千年前	旧石器時代	市域にはじめて住むようになる	1415	応永 22年	この年の市場祭文に、野田・大門市等の名が見られる
約8千年前	縄文時代	このころ白幡に、たて穴住居ができる	1451	宝徳 3年	高博盛彰は新座の大工二郎・三郎らに本太の水川神社の神輿を造らせる
約6千年前	〃	このころは、いまの東京湾が深く入りこみ、大谷場などの貝塚ができる	1524	大永 4年	北条氏綱が三室郡に制札を出し、軍勢の乱暴を禁止する
約2千年前	弥生時代	このころ浦和でも、水稲耕作がはじまる	1560	永禄 3年	太田賢正が潮田資忠に、浦和・木崎・領家などを与えたという
7世紀	古墳時代	このころ大久保や土合に古墳が築かれる	1572	元亀 3年	北条氏政が水川女体神社の社領を安堵し竹木類の乱伐を禁止する
807	大同 2年	太田窪の行弘寺、三室の報恩寺が創建されたという	1590	天正 18年	浅野長吉が浦和に対し禁制を発し、けんか、口論、押売などを禁止、市を公許する
813	弘仁 4年	田島の薬王院が創建されたという	1591	〃 19年	土合・三室などで検地が行われる
820	〃 11年	仲町の玉蔵院が創建されたという	1604	慶長 9年	徳川家康が大久保長安に命じて、日本橋を中心として各街道に一里塚を築いた(市内は辻・常盤の2ヶ所)
829	天長 6年	中尾の吉祥寺、本太の延命寺が創建されたという	1609	〃 14年	高力清長の追福のため、代官中村吉照が北浦和の廓信寺を創建する
830	〃 7年	領家の長覚院が創建されたという	1612	〃 17年	沼影村で検地が行われる
832	〃 9年	領家の明円寺が創建されたという	1622	元和 8年	保科正之を養育した見性院が没し、大牧の清泰寺に葬られる
866	貞観 8年	大牧の清泰寺が創建されたという	1629	寛永 6年	伊奈忠治が尾間木に八丁堤を築き、見沼の一部を締め切り貯水池とする
927	延長 5年	この年延喜式が撰集され、その中に水川神社・調神社などの名が見える	1665	寛文 5年	幕府が中山道の伝馬宿に関する規定を定める(人馬各50)
1008	寛弘 5年	三室の東漸寺が創建されたという	1697	元禄 10年	大門町が日光御成街道の宿駅となる
1184	元暦元年	太田窪の守光院が創建されたという	1727	享保 12年	井沢弥惣兵衛が將軍吉宗の命により、見沼溜井の干拓と新田の開発に着手、見沼代用水路工事着工
1293	正応 6年	三室の水川女体神社に、この年の祭事用の木鉾がある	1728	〃 13年	見沼代用水路工事完成
1309	延慶 2年	白幡の医王寺にある市内最大の青石塔婆が建立される	1731	〃 16年	見沼通船堀開門が完成し、通船をはじめ
1333	正慶 2年 (元弘 3年)	水川女体神社で性尊らにより大般若經の書写がはじまる	1832	天保 3年	佐藤信測が江戸を追放され、鹿手袋の永堀方に居住する
1335	建武 2年	足利尊氏が佐々日郷を鎌倉の鶴岡八幡宮に寄進する	1845	弘化 2年	佐藤信測が鹿手袋の永堀方で、「養蚕要記」を著す
1337	〃 4年 (延元 2年)	足利尊氏が一色範行に命じ調神社を造営させ、社領として5ヶ村を寄進したと伝えられる	1858	安政 5年	見性院尼の墓碑が清泰寺に建てられる
1350	観応元年 (正平 5年)	高師直が安保忠実が大窪郷を与える	1861	文久元年	皇女和宮、降嫁で11月13日浦和宿を通過する
1351	〃 2年 (〃 6年)	大久保地域の羽根倉で羽根倉合戦が行われる	1868	明治元年 6月	武蔵県設置、市域はその管下となる
1382	永徳 2年 (弘和 2年)	足利氏満が大牧村を法泉寺に寄進する	〃	〃	明治天皇、大宮水川神社参拝のため星野家(旧本陣)に御宿泊
1385	至徳 2年 (元中 2年)	佐々木持清が、兵乱で焼失した調神社の神殿を造営し、社田2ヶ村を寄進したと伝えられる	1869	2年 1月	武蔵県を廃し、大宮県とする
1396	応永 3年	日光輪王寺所蔵の奥書に「武州足立郡浦和の善賢律師右筆年70云々、応永3年丙子10月18日未時書写」とあり、いまのところうらわの地名が古文書に見られる最古のものである			

付 表

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
1869	2年 9月	大官県を浦和県に改称	1914	3年 3月	浦和産婆学校開校
1870	3年 1月	浦和県庁舎鹿島台に新築	〃	〃 7月	浦和・越谷間乗合馬車開通
1871	4年 3月	浦和県が浦和郷学校を玉蔵院に開設	〃	〃 8月	豪雨により、この月2回にわたり、荒川はん濫
〃	〃 11月	浦和県を廃し、埼玉県を設置 (12月1日浦和県庁舎跡に新庁開設)	〃	〃 9月	埼玉県師範学校新校舎落成
〃	〃	浦和郵便役所 (後の郵便局) 開設	〃	〃 10月	町有共同墓地の余地がなくなり、鯛ヶ窪に新設
1874	7年 12月	岸村を浦和宿に合併	〃	〃 12月	県物産陳列所、調公園内に開館
1876	9年 1月	県立学校内に医学校開設	1915	4年 7月	尾間木・土合・六辻村早魃被害
1877	10年 6月	電信線が通じ電信分局設置	1916	5年 7月	公会堂完成、恭慶館と命名
1878	11年 8月	浦和警察開署 (従来本庁内)	〃	〃	浦和一鳩ヶ谷間、鳩ヶ谷自動車のバス開通
〃	〃	明治天皇、北陸巡幸途次新築の師範学校 (鳳翔閣) を行在所として御宿泊	1917	6年 2月	県会議事堂落成
1879	12年 3月	北足立・新座郡役所設置	〃	〃 10月	大暴風雨により、浦和署管内全壊83戸半壊10余戸を出す
1883	16年 7月	高崎線上野-熊谷間開通、浦和駅営業開始	〃	〃 11月	鳩ヶ谷-大門間自動車運転開始
1886	19年 5月	県庁熊谷移転運動起る	1918	7年 6月	浦和農産市場 (株) 設立
1888	21年 3月	上町 (現常盤) より出火、宿の約半分焼失	〃	〃 11月	(株) 武州銀行設立
1889	22年 4月	町村制施行により浦和町となり、市域内の各村々の合併もすみ谷田・木崎・三室・尾間木・六辻・土合・大久保・美谷本・野田・大門の各村が誕生	1919	8年 1月	(株) 武州銀行本店開業
〃	〃 5月	町役場、浦和町243番地に開庁	〃	〃 8月	日本製麻 (株) 設立
1890	23年 9月	県庁の位置を浦和町に定める旨の勅令が出る	1920	9年 6月	埼玉用達 (株) 設立、(霊柩車、火葬場を運営)
1896	29年 3月	(株) 武州貯蓄銀行設立	〃	〃 7月	田島ヶ原のサクラソウ自生地、天然記念物として内務省から指定
〃	〃 4月	郡廃置法を施行し、旧新座郡と旧足立郡の区域を合わせて新たに北足立郡とし、郡役所は従来どおり浦和に置く	〃	〃 10月	第1回国勢調査実施
1898	31年	山田いち氏甘薯の良品種「紅赤」を発見	1921	10年 4月	郡制廃止法公布
1900	33年 4月	(株) 浦和商業銀行設立	〃	〃 8月	浦和より志木、大門へ自動車開通
1904	37年 7月	埼玉電灯 (株) により、はじめて電灯がとる	〃	〃 11月	官立浦和高等学校創立 (事務所は文部省内)
1906	39年 4月	感化法施行 (明治38年) で、埼玉学園開園 (昭和7年4月に上尾に移転)	1922	11年 4月	官立浦和高等学校開校
1907	40年 8月	豪雨により荒川堤防決壊、大久保・土合・六辻・西浦和方面の被害じん大、各所に救護所設置	〃	〃 10月	埼玉県教育会が埼玉図書館を設置、開館
1910	43年 3月	特設電話開通 (加入者84名)	〃	〃	町営住宅建設完成 (36棟51戸)
〃	〃 8月	豪雨により荒川堤防決壊、大久保・土合・六辻・西浦和方面の被害じん大	〃	〃	町の紋章、懸賞募集により決定 (昭和9年市制施行のとき、この紋章を正式に市の紋章と決定)
1912	大正元年	暴風雨により家屋の全半壊、電柱転倒多数、死傷者が出る	1923	12年 4月	郡制廃止法施行
〃	〃 9月	与野駅開設	〃	〃 9月	関東大震災により町内に被害 (六辻・土合地区等は倒壊家屋多数)
1913	2年 8月	豪雨により荒川がはん濫、大久保・土合・西浦和地区が大被害	1924	13年 4月	県立図書館建設
〃	〃 10月	県会議事堂竣工 (総工費10万円)	〃	〃 9月	女子師範学校校舎ほぼ完成、新校舎に移転
〃	〃 12月	埼玉師範学校本館、講堂等が失火で全焼	〃	〃 12月	浦和一所沢間、乗合バス運行認可
1914	3年 1月	浦和簡易図書館開館 (玉蔵院傍)	1925	14年 3月	浦和一片柳一大宮間、乗合バス運行認可
			1926	15年 10月	私立京北高等歯科医学校、埼玉会館前に新築開校
			〃	〃 11月	埼玉会館竣工
			〃	〃 12月	鶴屋自動車、浦和一大宮間の乗合バス運行を許可される

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
1927	昭和2年	日本製麻(株)閉鎖	1937	12年1月	埼玉県南水道組合事業開始
	2月		"	"9月	防空体制強化のため防護団設立
"	"	塚本、宿地内で大火	"	"	浦和中学校(現浦和高校)、領家の現在地に移転
"	3月	町立浦和商业学校開校(裏門通り兵林館借用)	1938	13年1月	秋ヶ瀬橋(浦和所沢線)完成
"	5月	浦和町職業紹介所開設	"	4月	この月以降、統制経済推進のため商工業組合の結成が進められる
"	"	中井銀行休業	"	7月	六辻村、町制施行
"	"	はじめての塵芥焼却場を字天王(現元町)に建設	1939	14年3月	市営浦和(のちの高砂)公益質屋業務開始
1928	3年8月	豪雨による大洪水で荒川筋に大被害	"	6月	浦和商工会議所設立
"	10月	浦和商业学校の移転(稲荷丸から白幡)町議会で可決	"	10月	鈴谷の塵芥焼却場完成
"	12月	武州鉄道岩槻-大門間開通(昭和12年廃止)	1940	15年1月	所沢-浦和間直通バス運転
1929	4年11月	浦高同盟休校事件	"	4月	市立高等女学校、領家に開設
"	"	大門銀行解散	"	"	三室村・尾間木村を浦和市に合併
"	"	字名、区域地番等の改正はじまる	1941	16年4月	小学校を国民学校と改称
1930	5年1月	蚕業取締所熊谷より浦和へ移転	"	"	市立高等女学校、元町の新校舎に移転
"	6月	浦高同盟休校事件	"	12月	対米英宣戦布告
"	12月	埼玉師範学校本館、講堂、原因不明の火災で焼失	1942	17年4月	六辻町を浦和市に合併
"	"	浦和駅東口、地下道完成により開設(12月27日営業開始)	"	7月	北足立地方事務所開設
1931	6年2月	見沼の通船、許可期間が切れ廃止	1943	18年4月	市立中学校(のちの市立高校)、白幡の六辻小学校を仮校舎に開校
"	9月	甘薯「紅赤」種発見者山田いち氏「富民賞」受賞	"	"	県立男・女師範学校が官立師範学校となり、男子部、女子部となる
1932	7年3月	埼玉県師範学校、再建築落成	"	7月	常備消防部をはじめ設置
"	4月	木崎村・谷田村が浦和町に合併される	"	"	1県1行方針に基づき、武州銀行などが統合して埼玉銀行を創立
"	"	埼玉学園、上尾町に新築移転	1944	19年2月	日本放送協会浦和出張所設置
"	8月	山本印刷争議	"	10月	浦和保健所設置
"	9月	東北線大宮-赤羽間電化	"	"	1県1紙方針に基づき、埼玉新聞社創立
1933	8年7月	副業指導所開所	"	12月	市立浦和青果市場を岸町6丁目に開設
"	"	県と埼玉共済会の合併で、埼玉社会館を岸町に設置	1945	20年	空襲を受け被害
"	"	大谷口の尚和園(養老、育児)設立認可(昭和10年開所)	"	4~5月	
"	"	国道17号(新国道)志村-大宮間開通	"	8月	終戦詔勅放送、無条件降伏(15日)
1934	9年2月	市制施行(11日)	1946	21年2月	神社社格廃止、宗教法人として発足
"	"	浦和第二尋常小学校(現常盤小学校)火災により焼失	"	3月	埼玉軍政部、大宮市から浦和市(埼玉会館別館)へ移転
"	3月	埼玉県南水道組合成立	"	10月	選挙管理委員会設置
"	"	県立浦和第二高等女学校を女子師範学校に併設(4月開校)	"	12月	火葬場を埼玉用達(株)より譲り受け市営とする
1935	10年3月	電話の自動化開始	"	"	第2次農地改革、自作農創設、農地委員会設置
"	"	浦和主婦互助会設立認可される	1947	22年4月	6・3制男女共学の新教育制度発足(小学校、中学校と改称)
"	"	尚和園開設	"	"	岸・常盤・調宮・木崎・尾間木・白幡・六辻・土合・大久保・大門・野田の各中学校創設
1936	11年4月	小松原女子洋裁学校創立			
"	9月	北浦和駅開設			
"	12月	武州鉄道、大門-神根間延長開通			

付 表

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
1947	22年 4月	選挙法が改正され、はじめて市長の公選実施(5日)、参議院(20日)・衆議院(25日)・市会(30日)・県会(30日)の各議員の選挙実施	1955	30年 9月	陸上自衛隊埼玉地方連絡部設置
				// // 10月	県庁舎・議事堂完成、落成式挙行
			1956	31年 4月	美園村が大門・野田・戸塚の三村合併で発足
//	// 5月	日本国憲法施行、町内会部落会の解散に関する政令公布施行	//	//	市立浦和商业高等学校県移管
//	// 10月	北浦和駅西口開設	//	//	市営別所沼公園県移管
//	//	埼玉総合職業補導所設置	1957	32年 5月	県立美術館、別所沼畔に開館
//	//	浦和市授産所設置	//	// 7月	豊多摩刑務所が浦和刑務所と改称
//	//	浦和競馬場設置	//	//	消防庁舎、常盤に新築落成
1948	23年 3月	6・3・3制教育施設組合発足	//	//	浦和警察署、常盤に新築落成
//	//	自治体警察制度により浦和市警察署発足	1958	33年 9月	台風22号の豪雨により市内各所に被害
//	// 4月	新制高等学校発足	//	// 11月	与野駅東口開設
//	//	消防本部及び消防署設置	//	//	住宅団地完成、入居開始(上木崎団地72戸・領家立野団地208戸)
//	//	浦和競馬場開催(7月より公営となる)	1959	34年 1月	埼玉大学付属小学校、火災で焼失
//	// 6月	日本最初の市立保育園(岸町保育園)設置	//	// 4月	戸田町一部(西浦和)を浦和市に編入
//	// 10月	第1回教育選挙実施	//	//	私立双恵中学校創立
//	//	埼玉県庁放火により焼失	//	//	私立小松原高校(男子)開校
1949	24年 1月	浦和少年鑑別所開設	//	// 5月	清肥場落成、操業開始
//	// 3月	県児童中央相談所、与野(二度栗山)から仲町に移転	//	//	市民相談室新設
//	// 5月	三室芝原の浦和地区指導農場を市で買収	//	// 7月	県自治会館新築落成
//	//	浦和市農業相談所として発足	//	// 8月	西堀農事研究所開設
//	//	旧浦高・旧埼玉師・旧埼玉青師を包括し埼玉大学設置	1960	35年 4月	浦和市青少年育成事務局設置
//	// 6月	国民健康保険事業開始	//	// 5月	県立図書館新築落成
//	// 12月	浦和一女、バスケットボールで3冠王(全日本バスケット女子総合選手権・国体・高校総合で優勝)	//	// 9月	初の名誉市民として高橋泰雄氏推挙
1950	25年 3月	県議会県庁建設委員会で、県庁舎を浦和に建設することを決定	1961	36年 2月	県衛生会館新築落成
//	// 4月	県立浦和第二女子高校、浦和西高校と改称	//	// 4月	県立浦和工業高等学校開校
1951	26年 7月	農業委員会設置	//	// 7月	南浦和駅開設
//	// 11月	市役所北側に庁舎1棟増築	1962	37年 4月	第1回花いっぱい大会開催
1952	27年 3月	田島ヶ原サクラソウ自生地・野田の鷺およびその繁殖地が国の特別天然記念物に指定される	//	// 5月	美園村の一部(野田、大門)を浦和市に合併
//	// 6月	市立授産所設立	//	//	住宅公団南浦和団地(1,252戸)完成入居開始
1953	28年 2月	公会堂で市営結婚式開始	//	// 9月	母子福祉センター設置
//	// 11月	市立結核療養所、三室北宿に開設	//	// 12月	県農林会館新築落成
1954	29年 4月	埼玉大学経済短期大学部設置	1963	38年 4月	市立南高等学校開校
//	// 7月	新警察法施行により、自治体警察廃止	//	//	埼玉大学工学部設置
//	// 9月	市営総合運動場開設	//	// 9月	名誉市民に小谷野伝蔵・長谷川カナの両氏推挙
//	// 10月	市の広報で超短波無線放送開始	//	//	第18回国体(山口県)でサッカー完全優勝(浦和市立高校・浦和サッカークラブ・埼玉教員クラブ)
1955	30年 1月	土合村・大久保村を浦和市に合併	1964	39年 4月	市立南高等学校新校舎、辻に落成移転(第1期校舎新築)
//	// 4月	私立都北学院高等学校が市に移管され、市立都北高等学校設置	//	//	浦和商工ビル新築落成
			//	// 7月	埼玉大学下大久保(現在地)に移転開始工学部移転
			1965	40年 6月	住宅公団田島団地(1,895戸)完成、入居開始

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
1965	40年 8月	土合合同庁舎(支所・公民館・農協)完成	1976	51年 3月	市庁舎完成、移転執務開始
"	" 11月	市立南高等学校校舎完成	"	" 5月	市立常盤公園、裁判所跡地に開園
"	" 12月	南浦和駅西口で武蔵野線起工式挙行	"	" 10月	市立図書館中央分館開始
1966	41年 2月	埼玉大学教育学部移転	1977	52年 4月	市立高等看護学院、三室市立病院構内に設置
"	" 4月	荒川左岸流域下水道組合設置	"	"	市立南郷ふるさとの家、福島県南郷村に開設
"	" 5月	埼玉会館落成式挙行	"	" 7月	防災広報車「ふるさと号」消防本部に設置
1967	42年 5月	交通災害共済実施	"	" 8月	第1回浦和おどり大会
"	" 6月	養護老人ホーム「年輪荘」開所	1978	53年 7月	南郷村にキャンプ場オープン
"	" 9月	浦和駅西口市街地改造事業の計画決定・事業決定	1979	54年 3月	千葉県天津小湊に「しらすぎ荘」オープン
1968	43年 1月	名誉市民に松永東氏推挙	"	" 4月	テレビ埼玉開局
"	" 10月	浦和駅が列車停車駅となる	"	" 7月	原山市民プール完成
1969	44年 8月	大久保支所・公民館完成	"	" 10月	トルーカ市と姉妹提携調印式
"	" 12月	埼玉大学教養学部、経済学部移転(移転終了)	"	"	コミュニティセンター新築落成
1970	45年 1月	市立南高等学校、サッカーで三冠王(全国サッカー選手権・高校総体・国体)	1980	55年 4月	仲町2丁目に立体駐車場オープン
"	" 4月	学校給食センター完成	"	" 5月	下大久保に勤労者体育センターオープン
"	"	大崎清掃工場完成	"	" 7月	浦和セントラルガーデン開園
"	" 12月	老人福祉センター「和楽荘」完成	"	" 8月	武蔵野線高架線わきの古タイヤ炎上、武蔵野線不通
1971	46年 1月	市役所、埼玉大学教育学部跡地(現在地)に移転	"	" 9月	武蔵野線1ヶ月ぶりに全面開通
"	" 2月	市民会館落成	"	" 10月	市民保健センター・市医師開館完成
"	" 6月	県立秋ヶ瀬公園、荒川河畔に一部開園	"	" 12月	下大久保に浦和斎場オープン
"	" 7月	市民プール完成	1981	56年 3月	浦和駅西口市街地改造事業竣工
"	" 11月	名誉市民に相川宗次郎・仲田一信の両氏推挙	"	" 4月	沼影屋内プールオープン
1972	47年 4月	サクラソウを市の花に正式決定	"	"	浦和駅西口市街地改造ビルオープン
"	"	三室支所・公民館新築落成	"	" 10月	中国・鄭州市と友好都市提携調印式
"	" 6月	郷土博物館開館	"	" 12月	内谷地区で新幹線・通勤新線起工式
"	" 9月	北公園(老人公園)開園	1982	57年 9月	駒場競技場(第2種陸上競技場)完成
"	" 12月	白幡団地完成、入居開始	"	" 11月	浦和駅に中距離普通列車が全面停車
1973	48年 3月	尾間木支所、公民館新築落成	"	" 12月	高砂常盤線暫定開通
"	" 4月	さくら草学園(精神薄弱児通園施設)領家に設置	1983	58年 2月	老人保健法施行
"	"	武蔵野線開通	"	" 3月	市立病院の伝染病隔離病舎と結核病棟改築完成(総合化第1期工事)
"	"	赤城少年自然の家落成	"	" 4月	大崎実習センター、大崎児童学園オープン、ふるさと歩道開設
1974	49年 1月	市立図書館、北浦和に開館	1984	59年 3月	自転車放置防止条例制定
"	" 4月	さくら草公園、荒川河畔に開園	"	" 4月	藤右衛門ポンプ場通水式
"	" 5月	県立北浦和公園開園	"	"	名誉市民に長島恭助氏を推挙
"	" 6月	美園支所・公民館新築落成	"	" 5月	ハミルトン市と姉妹提携調印式
"	"	市民体育館、駒場に完成	"	" 6月	大崎事業所収集部門管理棟完成
"	" 10月	市民憲章制定	"	" 7月	住民記録オンラインシステム稼働
"	"	モクセイを市の木として制定	"	"	浦和駅前観光案内所「ウラワ・インフォメーション」オープン
"	"	農業者トレーニングセンター、大崎に開設	1985	60年 2月	浦和駅西口に立体機械式自転車駐車場オープン
"	" 12月	名誉市民に本田直一・長沼新平・栗原浩・大沢雄一の4氏推挙	"	" 3月	東北・上越新幹線、上野-大宮間開通

付 表

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
1985	60年 3月	新特急浦和駅停車	1990	2年 11月	名誉市民に高田誠・相川曹司の両氏推挙
〃	〃 4月	公共下水道整備促進3ヵ年計画スタート	〃	〃	大谷場在家線・辻根岸線開通式
〃	〃 6月	税務オンラインシステム稼働	〃	〃	消防本部・中央消防署庁舎落成
〃	〃	別所排水路整備完成	〃	〃 12月	沼影市民プールにアイススケート場オープン
〃	〃 7月	文化センター、南浦和図書館落成	1991	3年 1月	市営墓地「青山苑」完成
〃	〃 9月	埼京線開通	〃	〃 2月	六辻水辺公園竣工
〃	〃 11月	第1回浦和市文化栄誉賞贈呈式	〃	〃 3月	三室野田線開通
1986	61年 3月	埼京線新宿駅まで乗り入れ開始	〃	〃	南浦和コミュニティセンター開館
〃	〃	土合支所・公民館落成	〃	〃 4月	増田三男氏、人間国宝に認定される
〃	〃 4月	市民体育館増築落成	〃	〃 8月	ごみ減量対策市民連絡会議発足
〃	〃 5月	さぎ山記念公園開園	〃	〃	浦和ケーブルテレビネットワーク開局
〃	〃 8月	一般廃棄物最終処分場起工	〃	〃	浦和市健康長寿のまちづくり基本計画策定
1987	62年 2月	第1回浦和市功労賞贈呈式	〃	〃 9月	老人保健施設、ケアハウス起工
〃	〃	沼影中継ポンプ場通水式	〃	〃 11月	URAWA産業フェスティバル開催
〃	〃	昭和水門起工	〃	〃	さいたま新都心起工
〃	〃 6月	東口開発事務所開所	1992	4年 4月	浦和ふれあい館開館
〃	〃	西部開発事務所開所	〃	〃	浦和市を本拠地とするプロサッカー誕生
〃	〃	浦和市平和宣言議決	〃	〃 8月	第1回ユアース360花火大会開催
〃	〃 7月	皇太子殿下、皇太子妃殿下献血運動推進 全国大会（文化センター）に御出席	〃	〃 9月	中山道歩行者天国廃止
〃	〃 10月	見沼ヘルシーランド落成	〃	〃 10月	市民の窓口開設
〃	〃	徳仁親王殿下見沼通船堀跡御視察	〃	〃	ごみ処理施設更新事業着工
〃	〃	全国都市緑化フェア開催	〃	〃 11月	東京外郭環状道路一部開通
〃	〃	高田誠画伯文化功労者として顕彰される	1993	5年 4月	完全週休2日制実施
1988	63年 4月	市内6農協が合併し浦和市農業協同組合 発足	〃	〃	見沼氷川公園完成
〃	〃	皇太子妃殿下、清子内親王殿下、田島ケ 原サクラソウ自生地御視察	〃	〃 5月	サッカーJリーグ開幕
〃	〃	青少年宇宙科学館落成	〃	〃	グリーンヒルうらわ開設
〃	〃 5月	一般廃棄物最終処分場「うらわフェニッ クス」オープン	〃	〃	荒川総合運動公園通り完成
〃	〃 8月	市立病院新棟落成	〃	〃 6月	新浦和橋開通
〃	〃	浦和市人口40万人突破	〃	〃 7月	東浦和市民の窓口開設
〃	〃 9月	消防本部・中央消防署庁舎起工	〃	〃	資料スポット開設
〃	〃 10月	ホテル南郷落成	〃	〃	大原競技場完成
〃	〃 12月	渡辺武夫画伯、芸術院会員に就任	1994	6年 4月	見沼自然公園開園
1989	平成元年	荒川総合運動公園オープン	〃	〃	南筒公民館開館
〃	4月		〃	〃	北宿大橋竣工
〃	〃 6月	市営球場全面改修完成	〃	〃 6月	リッチモンド市と姉妹・友好都市提携
〃	〃 7月	日本語国際センターオープン	〃	〃 7月	本市で七都県市合同防災訓練が開催され る
〃	〃 11月	市立病院総合化	〃	〃 9月	第4次市勢振興計画基本構想まとまる
〃	〃	市制施行55周年記念式典	〃	〃	教育情報ネットワークU開通
1990	2年 1月	土曜閉庁開始	〃	〃 10月	市内公共施設循環バス運行開始
〃	〃 3月	教育研究所落成	〃	〃	不要品交換情報システム稼働
〃	〃 4月	浦和斎場増築落成	〃	〃 11月	「栄和市民の窓口」オープン
〃	〃	財務会計オンラインシステム稼働	〃	〃	第1回スポーツ文学賞受賞者決まる
〃	〃 7月	子供議会開催	1995	7年 1月	「武蔵浦和市民の窓口」オープン
〃	〃 10月	昭和水門通水式	〃	〃 2月	「与野駅市民の窓口」オープン
〃	〃	消防美園出張所落成	〃	〃 3月	浦和市議会で3市合併促進決議
			〃	〃	浦和くらしの博物館民家園オープン

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
1995	7年 4月	障害者複合施設「大崎むつみの里」オープン	1999	11年 2月	「南浦和駅市民の窓口」移転
〃	〃	田島公民館オープン	〃	〃	大久保支所・大久保公民館改装オープン
〃	〃 6月	浦和市東訪問看護ステーション開設	〃	〃 3月	「大門中継ポンプ場」完成
〃	〃 7月	「埼玉高速鉄道」着工	〃	〃	荒川彩湖公園開園
〃	〃 8月	駒場スタジアムがリニューアルオープン	〃	〃	井沼方公園開園
〃	〃 10月	武蔵浦和駅周辺地区第二街区市街地再開 発事業着工	〃	〃 4月	「浦和市空き缶等のポイ捨て及び飼い犬 のふんの放置の防止に関する条例」施行
〃	〃 11月	第1回浦和ハーフマラソン開催	〃	〃	「三室シルバーワークプラザ」オープン
〃	〃	「ホテル南郷」に温泉が引かれる	〃	〃	文蔵公民館（市民保健センター南部保健 室・文蔵児童センター）、大古里公民館 オープン
1996	8年 2月	原山市民の窓口オープン	〃	〃	市内循環バス停留所「浦和橋」、「南本 町2丁目」2か所増設
〃	〃	畑和前知事（1月26日逝去）名誉市民に	〃	〃	相川市長3期目初登庁
〃	〃 3月	山崎市民の窓口オープン	〃	〃 9月	浦和伝統文化館「恭慶館」オープン
〃	〃	南浦和陸橋竣工	〃	〃 10月	「情報公開制度・個人情報保護制度」 スタート
〃	〃 4月	道場・三室線開通	〃	〃	準備要介護認定の申請受付開始
〃	〃	ごみ処理施設更新事業完成	〃	〃	「浦和センチュリーシティ」オープン
〃	〃 7月	第2回スポーツ文学賞受賞者決まる	〃	〃 11月	市内共通商品券（第2回目）発行
〃	〃	インターネットに浦和市のホームページ 開設	2000	12年 3月	戸籍事務のコンピュータ化
〃	〃 9月	調公園にうんどう遊園開所	〃	〃 4月	介護保険法施行
〃	〃 10月	市内循環バスにリフト付きバス運航開始	〃	〃	「別所児童センター」オープン
〃	〃 11月	大門中継ポンプ場着工	〃	〃	「別所児童クラブ室」、「道祖土児童 クラブ室」開設
〃	〃	新見沼大橋開通	〃	〃	「東消防署東浦和出張所」落成
〃	〃 12月	西浦和市民の窓口オープン	〃	〃	し尿処理施設（クリーンセンター西堀） 更新事業完成
1997	9年 1月	消防本部 衛生通信システム運用開始	〃	〃	「うらわ美術館」オープン
〃	〃 4月	「プラザイースト」オープン	〃	〃	浦和市・大宮市・与野市合併協議会設置
〃	〃 5月	荒川貯水池「彩湖」完成	〃	〃 5月	さいたま新都心街びらき
〃	〃 12月	「ホテル南郷」に露天風呂のある大浴場 オープン	〃	〃 7月	第4回スポーツ文学賞受賞者決まる。
〃	〃	任意の合併協議会設置	〃	〃 9月	合併協定書調印
1998	10年 3月	南浦和区画整理事務所閉鎖	〃	〃	浦和（・大宮・与野各）市議会で廃置分 合に関する4議案可決
〃	〃	天王川コミュニティ緑道完成	〃	〃 10月	埼玉県知事へ廃置分合（合併）申請
〃	〃 4月	消防本部、携帯電話からの119番通報 受付転送システム運用開始	〃	〃	西武地域（仮称）第2体育館起工式
〃	〃	「シルバーワークプラザ」オープン			
〃	〃	市民保健センター「北部保健室」オープ ン			
〃	〃	北浦和駅インフォメーションセンター 「レッズスクエア」オープン			
〃	〃 5月	武蔵浦和駅周辺市街地再開発ビルの第1 号として第2街区に「ラムザ」完成			
〃	〃	市民の窓口移転			
〃	〃 8月	第3回スポーツ文学賞受賞者決まる			
〃	〃 9月	復元された見沼通船掘で通船実験			
〃	〃 10月	テレホンガイドうらわ運用開始			
〃	〃 12月	市内共通商品券を発行			